

深川消防団ニュース



# さきもり

発行 深川消防団  
 所在地 〒135-0042  
 東京都江東区木場  
 3丁目18番地10号  
 深川消防団本部  
 TEL : 03-3642-0119  
 FAX : 03-3641-4422



**団長確認**  
**実践的活動強化訓練**  
**に於いて**



明けましておめでとうございます。昨年中は、皆様方の温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。お陰様を持ちまして昨年は、深川担当区域では災害等の大過もなく、平穩無事に推移しましたことに心からお礼を申し上げます。

昨年は、深川消防署豊洲出張所新庁舎が6月に落成、続いて9月に枝川出張所新庁舎が落成、各庁舎には消防団の活動センターも併設され、地域の安全確保にますますお役に立てるものと確信しております。

また顧みますと、4月の熊本地震、8月の台風10号による集中豪雨、鳥取県中部で地震が発生、全国各地で自然災害が多発した年でした。そして記憶に新しい12月22日新潟県糸魚川市で強風にあおられ、木造密集市街地で約150棟が延焼するという、東日本大震災を除いて、過去20年間で国内最多焼失件数の大火災が起きましたことに危機感を覚えるところです。原因として、建物の密集、最大風速を記録した強風、消防水利の確保能力、と悪条件が重なりこのような大火につながり、



新年のご挨拶

深川消防団長  
小安 勤



改めて防災訓練で行う初期消火訓練の大切さが取り沙汰されており、

わが町をわが手で守る消防団として、いつ来るかわからない大規模災害に対し、知識と技術の向上を図る、消防団の充実強化が求められる今日、その実践的活動強化訓練を始めて三年目に入りました。

十二月四日(日)には団長確認(審査会)を実施しました。

当日は、今まで学んだ消火活動班、住民指導「応急救護」班に別れ、MCA無線を運用し、各分団の指揮能力、消火活動能力、救助活動能力の適切さと、災害を想定した現場での確実さや迅速さを審査しました。このような、団員相互の基本的活動能力の向上を目指し、訓練を持続的に行っているところです。

私たちは地域の消防団として、より身近で地域の皆様と懇親を深め、いざという時にお互いに協力体制が図れるよう、地域防災力の向上と災害に対しての住民の安全確保を図って参りたいと存じます。

本年も、ご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご飛躍ご発展を心よりお祈りを申し上げます、新年のご挨拶と致します。



新年のご挨拶



深川消防署長  
消防監  
小黒 幸義



深川消防団の皆様、明けましておめでとございます。輝かしい新春を迎えられ、お喜び申し上げます。

深川消防団の皆様におかれましては、年間を通じて日夜を分たず献身的に地域住民の安全・安心の確保のため各種活動に取組んでおりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年は、豊洲出張所並びに枝川出張所に第10分団施設、第9分団施設が併設されました。地域住民に愛され、各分団の充実強化が図られましたことを重ねてお喜び申し上げます。

消防署と消防団は車の両輪であり、強い絆で結ばれたかけがえないパートナーであると思います。消防団員のひとり一人の皆さんが今年も地域の防災リーダーとして活躍されますことを大いに期待致します。

結びに、深川消防団が小安団長を中心に益々ご発展され、団員の皆様のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



消防署定期人事異動

(平成二十八年十月一日付)



警防課長  
消防司令長  
石井 健二

平成二十八年十月一日付け東京消防庁定期人事異動により、警防課長を拝命いたしました。

伝統ある深川消防署で勤務させていただくことに、誇りに思うと同時に身の引き締まる思いです。

深川消防団の皆様と力を合わせ、地域の方々に「安全と安心」をおとどけできるよう力いっぱい尽くしますのでご協力をお願いいたします。



経歴

昭和五二年 東京消防庁入庁

同年 赤坂消防署拝命

その後、金町消防署・本庁警防部総合指令室・尾久消防署・芝消防署・新宿消防署・本庁警防部総合指令室・警防部多摩指令室・本庁警防部警防課・西東京消防署

出身 福島県

現住所 埼玉県さいたま市



「団長確認」行われる

【期日/12月4日】

【場所/深川消防署裏庭】

実践的活動強化訓練において

今期、実践的活動訓練の集大成として審査形式で団長確認が行われました。10個分団を消火活動(消火班)と救助活動(住民指導班)にわけ、活動要領と規律を審査しました。

救助活動は地震発生時の想定から団本部の出場命令を受け、救助資機材をもって出場し建物に閉じ込められている人をチェーンソーとユニツールを使って救出、そして重量物の下敷きになっている人をジャッキやユニツールで救出し、搬送するという流れでした。



消火活動は同じく団本部から出場命令、手引きポンプまたは可搬ポンプ積載車で中庭一周後、建物二階へ2か所注水、水が乗ったまま違う壁面に向かい再度注水しました。

いずれも5名一組で、指揮者の指示のもと行う事、指揮本部との連絡を密に正確に行う事が重視されました。

各団員は普段の訓練の成果を發揮し、まさに訓練成果を見せられたと思います。救助活動で団長賞を獲得したのは第8分団、消火活動で署長賞を獲得したのは第10分団でした。

平成二十八年消防団点検

【期日/9月25日】

【場所/都立木場公園多目的広場】

深川高校生への救命講習の実演

本場公園で開催された江東区消防団点検において、第一分団より深川高校生3名への救命講習を実演しました。

実演は、胸骨圧迫からAEDまでの一連の流れと三角巾による手当てを実演しました。

深高生への訓練は、点検前日が雨だったため、深川消防署で実施した2回のみとなりました。最初はぎこちなかった高校生達でしたが、深川消防職員の見習い指導が良かったのか、第一分団の指導が良かったのか、きつと両方だと信じ

ているのですが、当日はりっぱに訓練成果を披露しました。



参加した深高生も良い経験となったとのことでした。いざというときに今回の経験が少しでも生かしてくれることを期待しています。今後もボランティア精神を忘れないでください。

(第8分団 宮島編集員)



東陽・木場連合町会が防災訓練を実施

【期日/10月2日】

【場所/都立木場公園】

本場地区の町会・自治会合同の防災訓練が江東区役所隣の文化センターに於いて行われました。

深川消防署、第七分団、第八分団が指導に当たりました。

当日は約380名の住民の方々が集まり各種の訓練を行いました。また深川高校の生徒さんにも訓練のお手伝いをいただきました。

最近の住民参加の防災訓練で思うことは、ますます消防団員の出番が増える重要性が増していることです。普段からの訓練にも住民指導を念頭に置いて精進する必要があると感じます。



(第8分団 庄井編集員)

秋の火災予防運動

【期日/11月9日~15日】

【場所/都立木場公園】

消防署、消防団が連携し、可搬ポンプ積載車等での拡声器による火災予防の呼びかけや徒歩(2~3人一組)で火災予防を広報しました。

また、江東区文化センターに於いて防火防災講演会も行われました。

(フリーアナウンサー生島ひろしさんの東日本大震災体験談)この他、様々な火災予防啓発運動を行いました。



### 防火・防災講演

【期日／11月10日】  
【場所／江東区文化センター】

#### フリーアナウンサーの生島ヒロシさんが体験談を語る

第一部では、地域の町会と団体企業への表彰が行われました。  
第二部の講演では、アナウンサーとして有名な生島ヒロシ（防災士の資格も取得）さんが、宮城県ご出身ということもあり東日本大震災の話しやセミナーシャルで話題になったダイエットの話しなどされ、会場で生島さん指導のもと簡単な体操を行いました。講演後、小黒深川消防署長より感謝状とキュータ（消防マスコット）から花束の贈呈が行われました。



### 消防署庁舎開放

【期日／11月13日】  
【場所／深川消防署内】

#### 毎年、子どもたちが大喜び

爽やかな晴天のもと、庁舎開放が行われました。応急救護体験では多くの消防車の展示・説明、乗車体験もありました。小さなお子さん達は運転席に乗ってパチリと記念撮影。ミニ防火衣の着装体験でも兄弟やお友達とパチリ。皆さん消防士になった気分でした。ご両親もご満悦でした。



体験の中で、やはり人気ははしご車搭乗体験と放水体験ですね。どちらも

日常では経験できないことですから、皆さん真剣に、また、楽しそうにしています。私も最後にははしご車に乗せていただきました。深川署周辺の様子を見ることができて絶景でした！

その他に模擬消火器での消火訓練や消防署内の探検ツアーなどもありました。そして最後には、特別救助隊による消防演技があり、また、赤いバイク2台での走行やチェーンソー等の実演もありました。あれ？団で使っているのより、やっぱりパワーが違いますね！プロ仕様ですね！皆さん、お疲れ様でした。

（第七分団 藤田 編集員）

### 救急隊の運用開始

#### 深川管轄内では5隊目です

枝川出張所の新設に伴い、深川消防署管轄内で5隊目となる救急隊が運用を開始しました。今回枝川出張所に撮影ご協力頂き、改めて救急の事について取材をしてみました。

救急車の緊急出場件数は年々増加し深刻さを増しています。実際に、枝川出張所でも救急隊運用後2週間で百件出場し、1日の出動件数が10回を超える日もあるそうです。救急要請が増加すると、到着までに時間がかかり、平成27年度現在の平均到着時間は7分45

秒となっているそうです。いま一度、救急車の適性な利用について考えてみましょう。

『深川管轄内の救急車は、5台。』



そこで、消防団を通して、防災訓練や応急救命を地域住民に指導に行く際に、是非とも伝えて欲しい事はありますか？と質問してみました。

まずは、判断に迷ったら『#7119』へ繋がらないのは23区03-3212-2323 24時間年中無休で対応をしています。それと、AEDの普及。と話してくれました。

**救急車の適正利用と、AEDの普及。声かけ！呼びかけ！#7119！私達消防団員も、是非とも声かけていけたらと思います。**

今回、お忙しい中も撮影取材にご協力頂きました。枝川出張所、救急隊の皆様には深く感謝いたします。本当に有難うございました。

（第九分団 岩渕 編集員）

平成二十八年  
総合震災消防訓練を実施!

【期日/11月19日】

【場所/深川消防団管轄区域内】

平成28年11月19日(土) 東京消防庁では、首都直下型地震が発生したことを想定した、総合震災訓練を実施しました。

深川消防署では、管内の都立春海橋公園(江東区豊洲2丁目)において、墨田区、江東区、葛飾区、江戸川区の第七消防方面の各消防部隊が集結した方面部隊運用訓練を実施し、住宅密集地域に対する延焼阻止と長時間放水体制の確立を目的とした実践的な訓練をしました。



この訓練には、地元の豊洲町会をはじめ、深川消防団、深川消防署災害時防災ボランティアも参加し、それぞれ

が保有する可撤消防ポンプを実際に搬送、防火水槽からホースを伸ばして放水するなどの実災害さながらの緊張感ある訓練となりました。



災害時の非常食

シニア世代のための!

11月26日深川消防署3F会議室に於いて、おおむね60歳以上の男性を対象に非常食や保存食をおいしく飽きずに食べるための非常食講座が開かれました。

シニア世代のための  
非常食講座  
同時開催～食育応援講座～江東区保健所  
日時 11月26日(土) 10:00～12:30  
場所 深川消防署3階大会議室(本場 3-18-10)  
対象 江東区在住の60歳以上男性(30名程度)  
申込 深川消防署 警防課防災安全係(山中 西村)  
3642-0119(内線323) ※電話にて受付します  
締切 11月24日(木) 16時まで  
費用 200円(食料費)  
講師 非常食を美味しく食べるポイントをお伝えします。  
「食」の力で災害を乗り越えましょう!  
講師プロフィール  
昭和33年 江東区豊洲に生誕  
昭和55年 7年制、東京大学農学部農芸化学科卒業  
昭和62年 江東区豊洲にて非常食(非常食)を研究、普及させる  
※東京消防庁管内で初めて非常食を研究する者です。  
食品講習の基礎知識を伝授します。  
ムダのない講習をしましょう!  
江東区健康増進(保健所)健康推進課  
栄養指導担当係長 松野三紗子(管理栄養士)

講師は、第八分団副団長の鳩貝秀紀さん(地元、東陽町で京風割烹店を経営)です。

缶詰やアルファ化米、ポテトチップス等を使用して短時間に多彩で普通は思いつかないような料理に仕上げてくださいました。中でも、おかゆのアルファ化米を洋風のリゾットにしたり、ポテトチップスをポテトサラダにしたものなどに、参加者の皆さんその変化やおいしさに驚き、かつおいしく召し上がっていました。

(第十分団 庄井 編集員)

非常食講座レシピ集  
深川消防署警防課防災係まで

Memo

非常食講座  
レシピ集  
Ver.28-11

1 甘やパエリア

2 揚げたて大福のサラダ

3 梅干しの味噌汁

4 梅干しの味噌汁

5 梅干しの味噌汁

6 梅干しの味噌汁

7 梅干しの味噌汁

8 梅干しの味噌汁

9 梅干しの味噌汁

10 梅干しの味噌汁

11 梅干しの味噌汁

12 梅干しの味噌汁

13 梅干しの味噌汁

14 梅干しの味噌汁

15 梅干しの味噌汁

16 梅干しの味噌汁

17 梅干しの味噌汁

18 梅干しの味噌汁

19 梅干しの味噌汁

20 梅干しの味噌汁

21 梅干しの味噌汁

22 梅干しの味噌汁

23 梅干しの味噌汁

24 梅干しの味噌汁

25 梅干しの味噌汁

26 梅干しの味噌汁

27 梅干しの味噌汁

28 梅干しの味噌汁

29 梅干しの味噌汁

30 梅干しの味噌汁

31 梅干しの味噌汁

32 梅干しの味噌汁

33 梅干しの味噌汁

34 梅干しの味噌汁

35 梅干しの味噌汁

36 梅干しの味噌汁

37 梅干しの味噌汁

38 梅干しの味噌汁

39 梅干しの味噌汁

40 梅干しの味噌汁

41 梅干しの味噌汁

42 梅干しの味噌汁

43 梅干しの味噌汁

44 梅干しの味噌汁

45 梅干しの味噌汁

46 梅干しの味噌汁

47 梅干しの味噌汁

48 梅干しの味噌汁

49 梅干しの味噌汁

50 梅干しの味噌汁

51 梅干しの味噌汁

52 梅干しの味噌汁

53 梅干しの味噌汁

54 梅干しの味噌汁

55 梅干しの味噌汁

56 梅干しの味噌汁

57 梅干しの味噌汁

58 梅干しの味噌汁

59 梅干しの味噌汁

60 梅干しの味噌汁

61 梅干しの味噌汁

62 梅干しの味噌汁

63 梅干しの味噌汁

64 梅干しの味噌汁

65 梅干しの味噌汁

66 梅干しの味噌汁

67 梅干しの味噌汁

68 梅干しの味噌汁

69 梅干しの味噌汁

70 梅干しの味噌汁

71 梅干しの味噌汁

72 梅干しの味噌汁

73 梅干しの味噌汁

74 梅干しの味噌汁

75 梅干しの味噌汁

76 梅干しの味噌汁

77 梅干しの味噌汁

78 梅干しの味噌汁

79 梅干しの味噌汁

80 梅干しの味噌汁

81 梅干しの味噌汁

82 梅干しの味噌汁

83 梅干しの味噌汁

84 梅干しの味噌汁

85 梅干しの味噌汁

86 梅干しの味噌汁

87 梅干しの味噌汁

88 梅干しの味噌汁

89 梅干しの味噌汁

90 梅干しの味噌汁

91 梅干しの味噌汁

92 梅干しの味噌汁

93 梅干しの味噌汁

94 梅干しの味噌汁

95 梅干しの味噌汁

96 梅干しの味噌汁

97 梅干しの味噌汁

98 梅干しの味噌汁

99 梅干しの味噌汁

100 梅干しの味噌汁

川南小学校子どもまつり

【期日】10月2日(日)  
【川南小学校校庭】

10月2日(日)晴天の中、区立川南小学校の校庭にてPTA主催の川南まつりが開催されました。

午前は「防災」  
午前中は、地域子ども会や近隣の児童館の皆さんとジュニアリーダーが考えた、防災に関するゲームを参加者皆さんでおこなったり・防災にちなんだ工作物をつくり楽しみました。

午後からは、本日の目玉イベントである「防災体験」深川消防署・深川消防団第二分団の協力で、消防ポンプ車・起震車への乗車体験や消防団の可搬ポンプ積載車をバックに記念撮影をしました。

煙ハウスの中を進んだり、実際の火を消す消火訓練を子供たちは身を持って体験しました。

いつ起こるか、わからない災害に備えたイベントでした。子どもたちにとっても貴重な体験だったでしょう。

(第二分団 山田部長 平林編集員)



枝川・塩浜・潮見で防災運動会

【期日】10月23日(日)  
【枝川小学校校庭】

「自分達の手で地域を守る!!」

江東区立枝川小学校をお借りして、深川消防団第9分団担当地域。枝川・塩浜・潮見町会16団体「エダージュ」の防災体験運動会が秋晴れの中行われた。運動会も32回目を迎え、今年も東京都地域の底力再生対象事業として、「防災訓練を交えた運動会」と「東京オリンピック・パラリンピック」を意識した競技が行われ、山崎江東区長・堀川江東区議会議員、小安団長を迎え開催されました。

(第九分団 岩淵 編集員)



「働く車が大集合」

【期日】10月9日(日)・10日(月)  
【青海1丁目シンボルプロムナード公園】

(株)東京臨海ホールディングス主催による「働くくるま大集合」に東京消防庁そして第九分団(9日担当)と第十分団(10日担当)が参加しました。他にも、警視庁・首都高速道路公団・JAFなども参加しました。

両日とも、展示車両の前に写真撮影したり、子供向けに用意された、ミニ防火服等の着装体験ではそのまま消防士になりきり、水消火器訓練を体験する子もいました。最後に、「任務ご苦労さまでした。」と訓練体験後に赤バイクの消しゴムを手渡されると満足な笑顔でした。

(第九分団 岩淵 編集員)



消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp  
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

**TEISOH** 株式会社 テイソウ  
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤 庄一

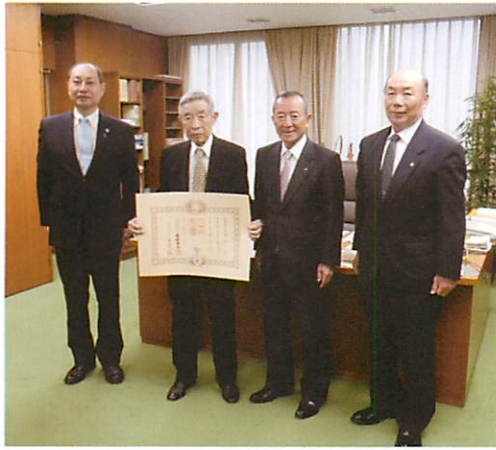
私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141(代表)  
http://www.mutoh-u.co.jp/  
支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま  
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台

奥村 修氏（元第五分団長）  
叙勲「瑞宝単光章」を受賞

奥村元分団長が平成二十八年春の叙勲で「瑞宝単光章」を受賞しました。この日は、当庁主催の伝達式のほか、皇居内の豊明殿において、天皇陛下への拝謁も行われ、奥村元分団長は「大変貴重な経験でした。これも消防団にいたからこそできた経験です。今後消防団のために尽力させて頂きます」と感想をのべられました。



鳩貝 裕幸氏（団本部分団長）  
「東京都知事褒章」を受賞

今回、名誉ある東京都消防褒章を受章して大変嬉しく思い、益々消防団活動に精進して地域防災の要に成るべく

努力をして行く所存です。

受賞が決まった事を家族に言うとき子供も行きたいと言いい、当日は子供も会社を休み一緒に妻と共に会場に行き、随伴席で終わりまで見ていました。この受賞は、家族の支えがあつて頂いた賞だと改めて思いました。そして消防署の指導と団員の協力も不可欠だと思います。この受賞は皆様のおかげです。ありがとうございます。

団本部 分団長 鳩貝 裕幸



鳩貝裕幸分団長 東京都知事褒章受賞祝賀会  
2016年11月26日(土)

下村 勝一氏（第九分団長）  
「東京都知事褒章」を受賞

私は、9月初めに「褒章代表」に選ばれた。」と連絡を受けました。

10月27日受賞式のために、東京都庁第一庁舎へに行く事になりました。夫婦同伴で出席するのですが、妻には1週間前に伝えたので「もっと早く云つてよ、女は色々着るものとか、支度が大変なんだから」と叱られました。

いよいよ都庁へ行く日が来ました。妻の支度も終わり「この服でおかしくない？」と私に聞いてきた、妻はいつものまにか服の用意をしていたようです。深川消防署へ行き、色々準備をしてタクシーで都庁へ向かいました。

受賞式が始まる前に、式場で記念写真を撮り予行も終わり、いよいよ開式国歌斉唱後、東京都消防褒章贈呈・小池都知事のお話し・来賓祝辞・来賓紹介・受賞者代表謝辞・閉式、その後都庁を後に深川消防署に帰りました。署の皆様は祝福され迎えて頂きました。三階会議室で記念撮影（署長、団長、署の幹部、副団長、団本部分団長）撮影後、二階に移動して談笑しながらの食事会をして、終了しました。

私も、このような立派な賞を頂き、これまで以上に活動訓練に頑張りたいと思います。最後に、第九分団の皆様ありがとうございます。

第九分団長 下村 勝一



消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。



ホテル イースト21東京

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3  
03-5683-5683 (代表)  
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか  
分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

表彰者の紹介 消防団点検以降

◆東京都知事表彰(褒章)

団本部 分団長 鳩貝 裕幸  
第九分団 分団長 下村 勝一

◆消防総監表彰(功績表彰)

第一分団 副分団長 大木 清三  
第二分団 副分団長 重田 富雄  
第五分団 副分団長 植原 信義

◆消防総監表彰(優良表彰)

第三分団 団員 大野栄美子  
第三分団 団員 五明 桂一  
第四分団 団員 山鹿 寿信  
第五分団 班長 圓城寺正和  
第六分団 班長 齋藤 定信  
第八分団 班長 三浦 聖史  
第八分団 班長 井上 毅志  
第十分団 班長 日野原靖之  
第十分団 班長 櫻井 伸之  
第十分団 班長 柏木 和也

◆消防総監表彰(防災訓練功労)

第九分団 分団長 下村 勝一

◆消防総監表彰(勤続四十年家族感謝状)

団本部 小安 栄子様  
団本部 志村光太郎様  
第二分団 浅野 愛子様  
第七分団 勝山みつの様

◆江東区長表彰(勤続四十年)

団本部 団長 小安 勤  
団本部 副団長 志村 光一

◆江東区長表彰(勤続三十五年)

第六分団 分団長 平山 敏博

◆江東区長表彰(勤続三十年)

第一分団 副分団長 大木 清三

◆江東区長表彰(勤続二十五年)

第二分団 部長 飯田 英貴  
第四分団 副分団長 長里 光一

◆江東区長表彰(勤続二十年)

第二分団 部長 天満屋昌一  
第四分団 副分団長 斉藤 信行  
第六分団 副分団長 杉山 修一

◆江東区長表彰(勤続十五年)

第五分団 副分団長 山田 英之  
第五分団 部長 小原 信俊  
第七分団 副分団長 塩澤 光行  
第七分団 部長 樋口 博之  
第八分団 部長 城田 陽造  
第九分団 部長 進野 満子  
第九分団 部長 若狭 和也

◆江東区長表彰(勤続十年)

第二分団 班長 田坂 成淑  
第二分団 班長 平林 忠之  
第三分団 班長 中山 勝透  
第三分団 団員 大野栄美子  
第三分団 団員 矢島久美子  
第三分団 団員 押山佐知子  
第五分団 班長 唐鎌 司郎  
第五分団 班長 森本 忠章

◆消防部長賞(防災訓練功労)

第六分団 班長 齋藤 定信  
第六分団 班長 岩崎龍太郎  
第六分団 班長 竜崎 誠

◆方面本部長賞(防災訓練功労)

団本部 分団長 鳩貝 裕幸  
団本部 団員 岩淵 初美  
第八分団 副分団長 鳩貝 秀紀  
第九分団 副分団長 木下 真吾  
第九分団 部長 進野 満子

◆深川消防署長感謝状(勤続十五年家族感謝状)

第七分団 分団長 勝山瑛登志  
第九分団 部長 石山 一美  
第九分団 部長 小濱 利典  
第七分団 塩澤房子様  
第七分団 樋口直美様

消防署の指導者紹介

警防課	石井 課長
毎日勤務	小坂 消防安全係長
	奥村 消防団担当主任(各種業務全般)
一部当番	鈴木 非常勤
一部当番	大友 係員
一部当番	内田 主任
一部当番	古谷 副主任
一部当番	鳥井 係員
二部当番	川本 副主任
二部当番	杉田 副主任
三部当番	坂西 主任
三部当番	草間 係員

さきもり編集委員

分団名	任	務階級	氏名
団本部	監	修	小安 勤
団本部	編集委員長	副団長	椎名 貞雄
団本部	編集責任者	分団長	渡邊 美憲
一分団	編集補佐	副分団長	長谷川祐二
一分団	委	員	宮島 慎一
二分団	委	員	平林 忠之
三分団	委	員	中島沙江子
四分団	委	員	正本 光生
五分団	委	員	海老沢貴文
六分団	委	員	高野 俊勝
七分団	委	員	藤田 亨子
八分団	委	員	庄井 勤
九分団	委	員	岩淵 初美
十分団	委	員	榎山美恵子

編集後記

あけまして おめでとーございます  
表紙では、「団長確認」を掲載しました。我が消防団の災害に備えた、実践的活動強化訓練は消防署職員の指導のもと行っております。今後もいつ起るかもしれない災害に備えて訓練を続けていきます。  
「さきもり」も誌面を通じて災害に備えての色々な情報を発信してまいりますので、分団員の皆様には今迄以上のご理解と各分団編集員へのご協力をお願いいたします。  
結びに、今年も深川消防団担当区域内が無事過ごせる事を願っています。  
「さきもり」編集部  
編集補佐 副分団長 長谷川祐二